

名取川水系湯水におけるダム等連携 ～湯水対応のためダム等から増放流～

名取川水系広瀬川においては、広瀬橋地点の河川流量が低下していることから、大倉ダム等の増放流及び湯水情報連絡会構成機関の協力により、広瀬橋地点流量 $Q=1\text{m}^3/\text{s}$ の回復を目指します。今後の降雨状況や河川流況によりますが、8月20日頃まで流況回復のために増放流する予定です。

なお、仙台河川国道事務所では、6月13日より名取川水系湯水対策支部（注意体制）を継続中です。

今後とも関係機関と連携しながら、河川流況の監視強化に努めますので、適正な取水管理や節水のご協力をお願いいたします。

<河川の流量：8月6日9時現在>

◆広瀬川 広瀬橋地点

◆流量（現況） $0.37\text{m}^3/\text{s}$ （湯水調整基準流量 $1.00\text{m}^3/\text{s}$ ）

目標流量 $1.00\text{m}^3/\text{s}$ （大倉ダム・かんがい施設等による増放流含め）

※ 流量は暫定流量

<事務所体制>

河川（湯水） 令和6年6月13日（木） 注意体制継続中

記者発表先：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北建設専門紙記者会

問い合わせ先

名取川水系湯水情報連絡会
事務局 東北地方整備局 仙台河川国道事務所
仙台市太白区あすと長町4丁目1番60号
電話 022-248-4131（代表）

副所長（河川担当） こん しんいちろう 金 真一郎（内線204）

河川管理課長 ひらやま きよと 平山 清人（内線331）